

次期愛知県スポーツ推進計画基礎調査委託業務企画提案書作成要領

企画提案書は、下記のとおり作成すること。

1 総則

- ・企画提案書の用紙サイズは、原則 A4 判縦方向、横書き、左綴じとする。
- ・印刷については、カラー、白黒を問わない。
- ・企画提案書にはカバーを添付しない。
- ・文章を補完するために、イラスト・図等を使用しても構わない。
- ・下記の留意事項のほか、各様式の注意書きを参照すること。

2 各提出書類の作成について

(1) 提案応募書（様式 1）

- ・応募資格のすべての要件を満たしていること。

(2) 業務実施体制（様式 2）

【総括責任者・業務担当者の履歴・実績等】

- ・総括責任者及び主要な業務担当者に関する情報を記載すること。

【法人等の業務履歴の発注者欄】

- ・本業務と関連性の高い業務（スポーツ政策及び EBPM（証拠に基づく政策立案）に関する調査等）の実績を優先的に記載すること。
- ・民間の場合は「民間」のみ記載すること（企業名の特定は不要）また、自主事業の場合は「自主」と記載すること。

(3) 業務提案書（任意様式）

- ・提案項目 1～3 について、10 ページ以内でわかりやすく、簡潔に記載すること。
- ・用紙サイズは原則 A 4 判縦方向、横書き、左綴じとする。A 3 用紙を使用する場合は、1 枚で 2 ページと算定する。
- ・業務提案書の記載内容は次のとおりとする。

【提案項目 1】：業務全体の方針・進め方

①業務全体の方針

- ・本業務の目的を達成するための、実施方針を記述すること。
- ・事業全体に係る総合的な事業実施計画等を記述すること。

②業務実施の工程（プロセス）・スケジュール

- ・必要な調整が適切に行われるようにするため、提案項目毎に工程・スケジュールを記載した実施体制を示すこと。

【提案項目2】：調査項目

①県民アンケート

- ・ 県民のスポーツに関する意識や考え方を把握するため、どのような視点から調査を進めていくのか記載すること。
- ・ 具体的な調査方法・手段を記載すること。
- ・ 仕様書に記載の「質問項目（例）」を踏まえ、質問項目を設定すること。
- ・ 設定した質問項目の意図、想定する質問数を具体的に記載すること。
- ・ 標本数（仕様書に記載）に対し、年齢別、性別等の内訳を記載すること。
- ・ 標本数を十分に確保するために工夫する点を記載すること。

②有識者等ヒアリング

- ・ 大学教授等の学識経験者を10名、スポーツに関する団体やスポーツ施設等を10件、それぞれ選定し、記載すること。なお、以下に記載する有識者会議委員は除くこと。

<有識者会議委員>

| | |
|-------|-----------------------------|
| 大槻 洋也 | 至学館大学健康科学部健康スポーツ科学科教授 |
| 木村 華織 | 東海学園大学スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科准教授 |
| 中野 貴博 | 中京大学スポーツ科学部スポーツ健康科学科教授 |
| 舟橋 弘晃 | 中京大学スポーツ科学部スポーツマネジメント学科教授 |

※50音順

- ・ ヒアリング先の選定に当たっての考え方を記載すること。
- ・ 選定したヒアリング先に対する具体的なヒアリングの内容を記載すること。

③文献等からの統計調査

- ・ 主な調査対象、方法、内容を具体的に記載すること。
- ・ 調査内容は、次期愛知県スポーツ推進計画策定に資するものとする。

【提案項目3】：その他（独自提案）

- ・ 提案者の発想・創意工夫・ノウハウを活用した業務に関する独自の提案など、業務に関するアピールポイントを具体的に記載すること。